

プロジェクト報告書完成！ -プロジェクト活動の集大成- Completion of Project Reports! -The Compilation of 4 Projects-

鹿児島、清水、神楽坂、足助の4プロジェクトの活動内容が報告書としてまとまりました。text_koshimura
思わず読んでみたくなる表紙となった報告書を、M2の4名が紹介します！



鹿児島 Kagoshima-project プロジェクト

M2 浅野 純子



鹿児島の導火線

4月中旬に鹿児島PJの報告書が完成し、PJにご協力いただいた関係各位に送付することができました。去年の社会実験が終わって早半年、市の方々には報告書に関して年度を跨いで丁寧なご指導をいただき、ただただ感謝の一言に尽きます。PJとして私が実際に携わることができたのは1年間だけでしたが、あんなにも魅力と可能性に満ちた街に関われたことを嬉しく思います。またみなと大通りで桜島を見ながら珈琲が飲みたいなあと思う今日この頃です。



清水 Shimizu-project プロジェクト

text_matsumoto



2011年度の清水PJ活動報告書が完成しました。報告書には、清水の歴史などの基礎調査および、現地に足を運んでの空間資源の分布調査や、地元企業の方へのヒアリング調査、社会実験の結果報告など、1年間の活動内容はもろること、既存の港湾計画のレビューや他の港湾地域の事例をまとめました。昨年度からM1だけで始動し、手探りの部分も多々ありましたが、今年度以降の活動の基礎を築くことが出来たのではないかと感じています。



神楽坂 Kagurazaka-project プロジェクト

M2 仲村 貴文

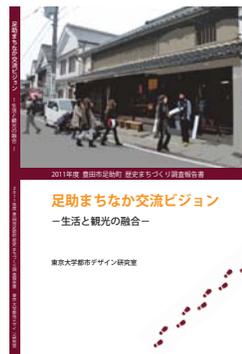


3月に2009-11年度報告書『神楽坂の断片「らしさ」を紐解く50のデータ』が発行されました。普段の議論の中で、花柳界や土地利用の変遷などは地元の人々にとって重要なテーマながら、その実態というものは曖昧なままとなっていました。そこで、3年前から神楽坂の街路、建物、商業地というテーマで定量的データの収集・分析を行い、データ集として発行する形となりました。これを元に神楽坂のまちづくりへ貢献できることを願っています。



足助 Asuke-project プロジェクト

text_ishii



4月下旬、4年間の活動の集大成ともいえる足助PJの報告書が完成しました。内容やレイアウトの試行錯誤を経て、先生方も含めメンバー一同が全力で取り組んだものが形になり、とても嬉しいです！今回の報告書は、社会実験「うちめぐり」とその継承、地産地消の実態調査といった内容を主として、これまでの調査や提案を踏まえつつ、「生活と観光の融合」による足助のまちの将来像である「足助まちなか交流ビジョン」を示しております。

台湾産業遺産めぐりの旅 - 前編 - Tour of Industrial Heritages in Taiwan. -vol.1-



2回にわたるマガジン編集長の台湾旅行記。前編で台北、後編で台中・高雄を取り上げます。

5月25日(金)～6月5日(水)の12日間、台湾行政院青年輔導委員会の奨励金を得て、台湾の縦貫鉄道沿いに残る産業遺産を調査してきました。4日間滞在した台北では、日本統治期に建設された酒工場、樟脳工場、煙草工場、砂糖倉庫などの活用事例を見学しました。台湾では行政院文化建設委員会の主導で文化創意園區(クリエイティブパーク)の整備が進んでおり、酒工場・樟脳工場が華山1914文化創意園區として、煙草工場が松山文化創意園區として、それぞれ大掛かりなリノベーションを経て博物館や店舗、ギャラリーなどに活用されていました。台北駅周辺は目下再開発が進行中で、1917年完成の鉄道部庁舎



▲旧酒工場の大掛かりなリノベーション



▲旧台湾総督府



▲台北駅西側には和式の社宅が残る

は修復が行われており、倉庫の一部が曳家されていました。一方で、取り壊される予定の鉄道関連の社宅街は荒廃しており、戦前の和式住居が多く残っているエリアだけに残念に思いました。また台北市内は戦前の日本の都市計画が如実に反映されたグリッド構造で、日本統治期の官庁・オフィス建築が多く残されています。特に有名な台湾総督府は、現在は総統府となって台湾政治の中心地であり続けています。

text_omori

留学生コーナー第18弾!

An Essay by International Student vol.18

My favorite town in Tokyo, Daikan-yama

研究生 李 旻姝

私たちは色々な要素から「都市」を感じることができると思いますが、中でも街路は人々がそこで生活し印象に残るといって最も重要な要素だと、私は思います。街路は人々が実際に利用する空間であり、色々な要素がうまく溶け込んでいると魅力的な空間になると思います。私は銀座や渋谷のように賑やかな街より、ゆったりとできる街の方が好きです。

私が好きな街として、最近歩いていった代官山について書きたいと思っています。韓国のウェブでは代官山は次のように説明されています。「東京の新興ショッピングスポット。狛鷹亭（アグジヨン）のような雰囲気ブランドショップやの店が多い。」私はそれまで狛鷹亭はあまり好きじゃなかったのですが、代官山に行くことはありませんでした。しかし、たまたま代官山に行って以来、代官山が好きになりました。狛鷹亭と代官山の違いについて、私が歩いて感じたことを2つ挙げたいと思います。

1つ目は、街路の形状と、街路と周囲の関係性が大きく違うことです。狛鷹亭というまちは狛鷹亭路という通りを中心に成立していますが、この通りの両側にはブランドショップがただ並ぶ形であり、店に特色が感じられません。歩行者が中心の空間というより店の並びが中心になっている印象です。また、店のすぐ後ろには小さな道路が接続しており、街路どうしの連結性が欠けた空間です。用途についても住宅と商店が完全に分離していて、つながりがありません。一方で、代官山は似たようなスケールの街路で構成されていて、あまり違和感がないと思います。商店や人々のアクティビティが一貫した雰囲気につながっています。用途

多国籍な都市デザイン研の特徴を生かし、長年住んでいると気づかない日本の都市の姿を留学生の新鮮な目で伝えます。第18弾は、韓国出身の研究生 イミンジュさんです!

についても、住宅と商店が同じ建物にあり、狛鷹亭との大きな違いです。

2つ目の違いは、街で行われるアクティビティです。狛鷹亭は代官山と消費者層が一部重なるかもしれませんが、行われているアクティビティについて言うと、狛鷹亭は代官山よりも銀座に似ていると思います。その点で代官山に似ているのは新沙洞街路樹通りだと思います。代官山では住宅街の中で独特な店がたくさんあって見るだけでも楽しむことができました。まちで行われているアクティビティの幅が広いと思いました。蔦屋書店の前のちょっとしたスペースで座って休んだりすることができるので、ただ散歩のために出ても楽しいまちだと思います。そのような面が代官山の魅力だと思います。



▲狛鷹亭路



▲蔦屋書店前のベンチで座る人々

これからも、魅力的な空間構成を持つまちを探しながら東京の路地を探索しようと思いますが、今のところ、私が韓国でとても好きだった新沙洞に似ているまちである代官山が、東京では一番好きな町です。

プロジェクト報告

盛りだくさんの3日間



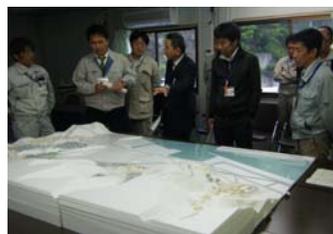
大槌 Otsuchi-project プロジェクト

text_fukushi

5月26日から28日にかけて大槌を訪問してきました。湧水や御社地など被災前の生活空間を調査したり、浜の周りや高台の小路を回ったり、漁船に乗って海上から大槌を見たりと盛りだくさんの内容でした。地元の団体で観光を担当している方もお話しでき、大槌の生業や人との交流を売りにして他ではできないプログラムをやっていききたいというお話がありました。地元の風景をどう再生しまちづくりに生かしていくかを考える上で、今後は今回見てきたような空間資源が具体的に人々の生活にどう結びついていたのか、丁寧に調べていきたいと思っています。



▲御社地の実測調査



▲赤浜地区の模型も無事に役場へ



鞆 Tomo-project プロジェクト

text_kashiwabara

鞆PJでは、5月13日から15日にかけて新メンバーでの現地訪問を行いました。昨年度に行なってきた空地調査の延長として、駐車場の利用状況と港周りのオープンスペースを調査しました。14日の夜には現地でお世話になっている方々との食事があり、鞆名物の鯛そうめんを始めとしたご馳走を振る舞って下さいました。調査の合間にも町の中をたくさん歩きまわり、鞆を満喫。初の訪鞆にして、早くもその魅力に魅せられています。今年度の鞆PJでは、鞆の空地を活かす方法を生活面と観光面の両サイドから提案していきます。



▲今年度の鞆PJメンバー



▲鞆名物鯛そうめん!

6月の予定

Information

- 6月19日 研究室会議 + B4 歓迎パーティー
- 6月23日 西村先生還暦祝賀会
- 6月30日 「いま、都市をつくる仕事」を語る トークイベント
14:00 ~ 16:00 紀伊國屋書店新宿本店 8Fにて開催
詳しくは <http://p.tl/8Tws> まで

★ 編集後記

越村 高至

はじめて記事編集を担当させて頂きましたが、過去の記事のレイアウト、フォントや色使いを参考にしながら基本を追うだけで手一杯でした。「より読みやすく、内容が伝わりやすい記事にするにはどうすればいいのか?」と考え工夫できる次のステップへ進めるように、早く仕事を覚えたいと思います。そういえば、はじめての研究室会議での発表の日が近づいてきていますね・・・。